

FUJIFILM

取扱説明書

IMAGE PROCESSING SYSTEM IS-100

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源ケーブルは以下の仕様のものをご使用ください。

定格 125V 10A 以上、PSE 認定品、3 芯端子付き

導体 0.75mm² 以上、長さ 2.0m 以下

本製品を使用するネットワーク環境の設定について本資料は言及していません。また、ネットワーク環境の保証はいたしかねます。

- 1 本資料に記載された製品および製品の仕様は、信頼性、機能、設計の改良の理由により予告なく変更されることがあります。
- 2 本資料の一部又は全部を当社に無断で転載または複製することを堅くお断りします。
- 3 本製品の使用によって発生した、いかなる直接あるいは間接的な損害に対して、富士フイルム株式会社は責任を負いません。
- 4 本資料によって第三者または富士フイルム株式会社の特許権その他権利の実施権を許諾するものではありません。
- 5 本資料で記述する製品名などの固有名詞は、各メーカーの登録商標、または商標です。

IMAGE PROCESSING SYSTEM IS-100 を操作する前に、このマニュアルの指示をお読みください。

1. 安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書をお読みください。
2. 取扱説明書はいつでも見られる所に保管してください。
3. 警告の内容すべてに注意してください。
4. 取扱説明書に従って操作してください。
5. 本装置を水の近くで使用しないでください。
6. 汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
7. 通気口をふさがないでください。取扱説明書に従って設置してください。
8. ラジエーター、通気調整装置、ストーブなどの熱源、またその他の熱を発生させる装置（ランプを含む）の近くに本装置を設置しないでください。
9. 有極プラグやアース・プラグの安全な目的を無効にしないでください。有極プラグには幅の違う 2 枚のブレードがあります。アース・プラグには 2 枚のブレードと、1 つのアース棒端子があります。ヒロイブレードまたは 3 本目の棒端子は安全のためのものです。ケーブルのプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事店に依頼し古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードを踏んだりプラグや室内コンセント装置から出た部分がはさまれたりしないように保護してください。
11. メーカー指定の取り付け具/付属品以外は使用しないでください。
12. 雷が鳴り始めた時や、長期間使用しない時などは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
13. 保守整備は資格を持っている担当者に相談してください。電源コードやプラグの損傷、装置が損傷した、水や異物が入った、装置に雨水がかかった、正常に動作しない、あるいは落とした場合には修理を依頼してください。
14. 本装置に液体が落ちたり、飛散したりしないように注意し、花瓶など液体の入った物を装置の上に置かないでください。
15. 電源コードは本装置の背面に位置しており、設置後も取り外し可能でなければいけません。
16. 本装置は、35℃以下の環境で使用しなければなりません。

はじめに

IS-100 をご使用になる前に本書をよくお読みいただき、設置、操作方法を十分に理解された上で、ご使用ください。また、安全上の注意事項は必ずお守りの上、正しくご使用ください。お読みになった後は、本書をいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項

本製品は安全に十分配慮して設計していますが、電気製品である以上、誤った使い方をすると火災や感電などにより死亡や大けがなど、人身事故につながることもあり危険です。本書に記載の注意事項を守り、正しくご使用ください。

故障したら使用を中止する

故障したと思ったら、無理に使用することは避け、販売店にご連絡ください。

万が一、異常が起きたら

発煙・異臭・異音が発生した場合

すぐに電源を切り、電源コードを電源から抜いてください。また接続されているコード類を全てはずし、販売店までご連絡ください。

発火した場合

すぐに電源を切り、電源コードを電源から抜くか、ブレーカーを落とし、すぐに消火してください。

その後、速やかに販売店までご連絡ください。

高調波規制への適合について

本製品は業務用機器の為、高調波電流規制の対象外製品です。

高調波電流規制には対応していません。

目次

1	安全上のご注意	6
1.1	警告表示の意味	6
1.2	仕様法に関する注意事項	7
1.3	電源に関する注意事項	8
1.4	設置・運搬に関する注意事項	9
1.5	清掃に関する注意事項	10
2	製品の設置	11
2.1	設置環境	11
2.2	開梱	12
2.3	本体について	13
2.4	各部の名称と機能	14
2.5	ケーブル接続方法、取り外し方法	16
2.5.1	ケーブルの接続方法	16
2.5.2	電源コードの接続	17
2.5.3	ケーブルの取り外し方法	18
3	IS-100 を使用する	19
3.1	起動	19
3.2	画面表示情報	20
3.3	設定画面	21
3.4	電源を切る	24
4	メンテナンス	25
4.1	清掃について	25
4.2	定期チェック	25
5	仕様	26
5.1	本体仕様	26
5.2	対応フォーマット	27
6	トラブルシューティング	28

このユーザーマニュアルは、安全にお使いいただくために次の記号で警告及び注意表示をおこなっています。内容をよくご理解の上でお読みください。

1.1

警告表示の意味

**警告**

この内容を見逃して誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**

この内容を見逃して誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

**火災の危険あり**

注意事項を守らない場合、火災を起こす危険性を持った内容であることを示しています。

**感電注意**

この内容を見逃して誤った取扱いをすると感電する恐れがあることを示しています。

**分解禁止**

感電・故障の原因となるために、分解を禁止する内容を示しています。

**行為の指定**

安全のために行為を指定する内容であることを示しています。

**行為の禁止**

感電・故障・けがの原因となるために、行為を禁止する内容であることを示しています。

**分解・改造の禁止**

本書に指示されている以外の分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災・故障の原因となります。

**開口部にもものを入れない**

吸気口や排気口などの開口部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落としたりしないでください。感電・火災・故障の原因となります。

**正常な状態で使用する**

異物や、水などの液体が内部に入ってしまったたり、結露が発生したりした場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災・故障の原因となります。

**ファンが止まったままの状態で使用しない**

ファンが止まったまま使用しつづけると、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。ファンが止まってしまった場合には、販売店の担当者までご連絡ください。

**正しい使用法で使う**

本書に記載されている以外の順序・方法で操作しないでください。
間違った方法で操作すると、感電・火災・故障の原因となります。

**通気口をふさがない**

本製品の通気口をふさがないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。

**正しい電源電圧で使用する**

指定されている電源・電圧以外は接続しないでください。感電・火災・故障の原因となります。

**電源コードを傷つけない**

電源コードを取り扱う際は、次の事をしないでください。感電・火災・故障の原因となります。

- ☐ 電源コードを改造したり、傷つけたりする
- ☐ 電源コードの上に重いものを乗せる
- ☐ 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりする
- ☐ 熱器具の近くに配線したり、加熱したりする
- ☐ 濡れた手で電源コードを取り扱う
- ☐ 破損している電源コードを使用する

故障の原因となる環境に設置しない

本製品は精密な電子部品で作られています。次のような場所に設置や保管をすると、動作不良や故障の原因となりますので必ず避けてください。また、長期間使用しない場合は、購入時の箱に入れて保管してください。



- ☐ 直射日光の当たる場所
- ☐ ホコリやチリの多い場所
- ☐ 温度・湿度変化の激しい場所
- ☐ 火気のある場所
- ☐ 水に濡れやすい場所
- ☐ 揮発性物質のある場所
- ☐ 冷暖房器具に近い場所
- ☐ 衝撃・振動・磁気・静電気のある場所

**安定した場所に設置する**

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、製品が落下してけがや故障の原因となります。

**長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く**

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**移設の際は全ての配線を外し、電源プラグを抜いた状態で行う**

本製品を移動する場合は電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが足などに引っかかり、けがの原因となることがあります。

**運搬するときは慎重に行う**

本製品は重量物ですので、製品の底面をしっかりと持って慎重に運ぶようにしてください。無理に1人で運ぶと、腰を痛めたり落させたりしてけがの原因となります。また、上下を逆にしたり、立てたりして運ぶと故障の原因になります。

**配線やお手入れの際は電源プラグを抜く**

電源プラグを差し込んだまま配線や清掃をすると、感電の原因となります。

**電源プラグを定期的にコンセントから抜いて清掃する**

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元及び刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着しショートして火災の恐れがあります。

**配線やお手入れの際は電源を切る**

電源を接続したまま配線やお手入れをすると、感電の原因となります。

**火災注意**

本製品の通気口をふさがないでください。
内部に熱がこもり火災の原因となります。

**注意**

設置環境にはご注意ください。寒暖の激しいところや砂埃の多いところ、極度に湿気が多い場所に長時間設置して使用されると故障の原因になります。

① 温度

動作温度: +5℃～+35℃ (温度変化は1時間あたり 20℃まで、結露無きこと)
保存温度: -20℃～+60℃ (結露無きこと)

② 湿度

動作湿度: 20%～80% RH (湿度変化は1時間あたり 20%まで、結露無きこと)
保存湿度: 5%～95% RH (結露無きこと)

③ 設置環境

本製品の設置は、水平で安定した場所に行ってください。
背面及び上面の通気口から 20cm 以上の空間を確保してください。
製品の周囲は十分な換気が行われ動作温度内に確保される必要があります。
動作中は振動を与えないでください。
特に以下の環境への設置は避けてください。

- 直射日光のあたる場所
- ホコリやチリの多い場所
- 温度・湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 衝撃・振動・磁気・静電気のある場所

**指定**

本製品を輸送する場合は、製品の梱包材または同等以上の梱包材を使用してください。

**警告**

本製品は重量物です。製品の底面をしっかりと持ち、慎重に運ぶようにしてください。無理な姿勢で運ぶと、腰を痛めたり落下させたりしてけが・本体破損の原因となります。

**警告**

本製品の上には重量物 (5kg 以上) をおかないでください。故障・破損の原因となります。

搬入は梱包したままの状態で行い、据え付け場所近くの平坦な場所で開梱してください。

【梱包内容の確認】

本製品を設置する前に以下のものがそろっているかを確認してください。万一不足しているものがある場合には販売店までご連絡ください。

【内容】**① IS-100 本体×1**

寸法： 210 × 400 × 129.5 mm (W × D × H) (突起部含まず)

重量： 5.0 kg

注意： 輸送用部材は捨てないでください

梱包箱や保護部材は、IS-100 本体の移動や輸送時に必要となります。
大切に保管してください。

IS-100 のコントローラーとして使用する機材およびソフトウェアは本体と同梱されていません。詳細に関しては、販売店までご連絡ください。

2.3 本体について



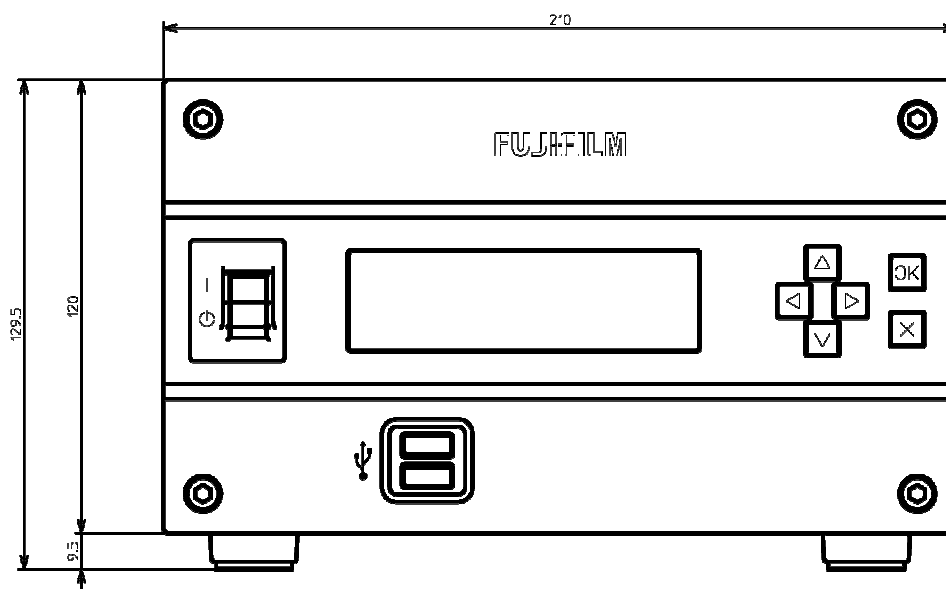
警告

本製品は重量物ですので、製品の底面をしっかりと持って慎重に運ぶようにしてください。無理に運ぶと、腰を痛め落下してけがの原因となります。

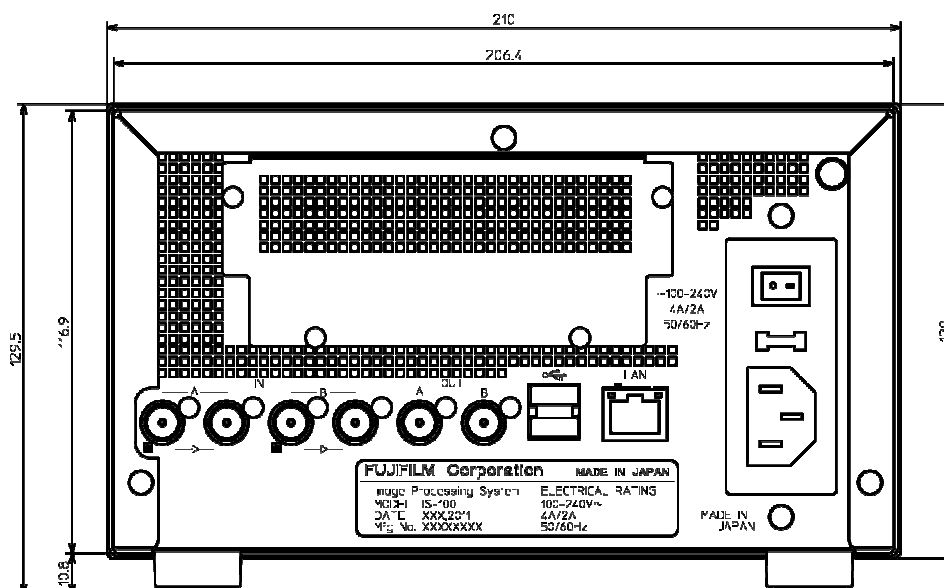
以下に外形寸法図を示します。背面及び上面の通気口から 20cm 以上の空間 を確保してください。

外形寸法（単位: mm）

正面



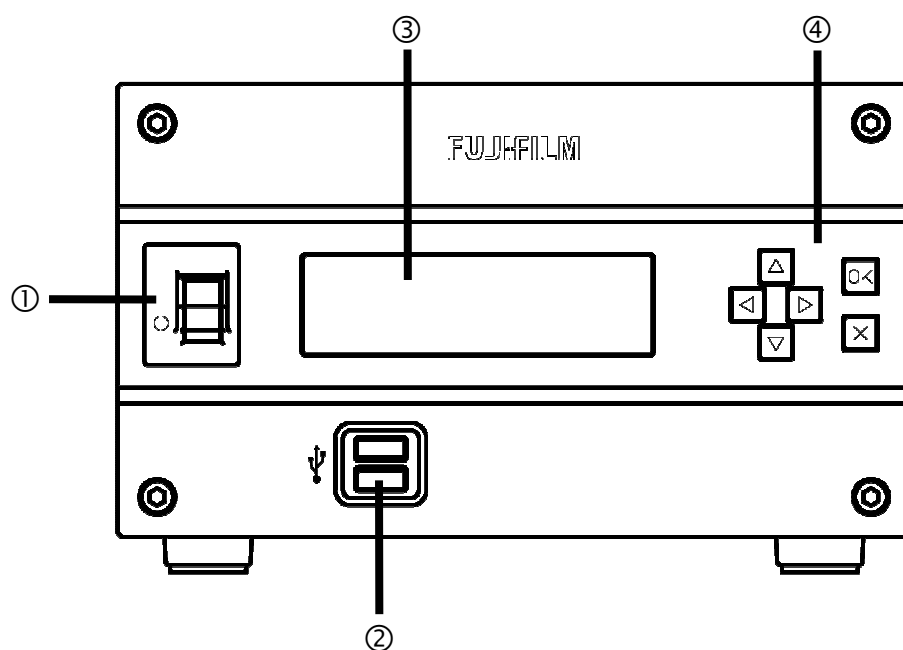
背面



2.4

各部の名称と機能

正面



【各部の働き】

① 電源スイッチ

本機の電源を制御します。

② USB コネクタ（2箇所）

USB 機器を接続します。

注意: USB コネクタはこのマーク (USB) を下にして接続してください。

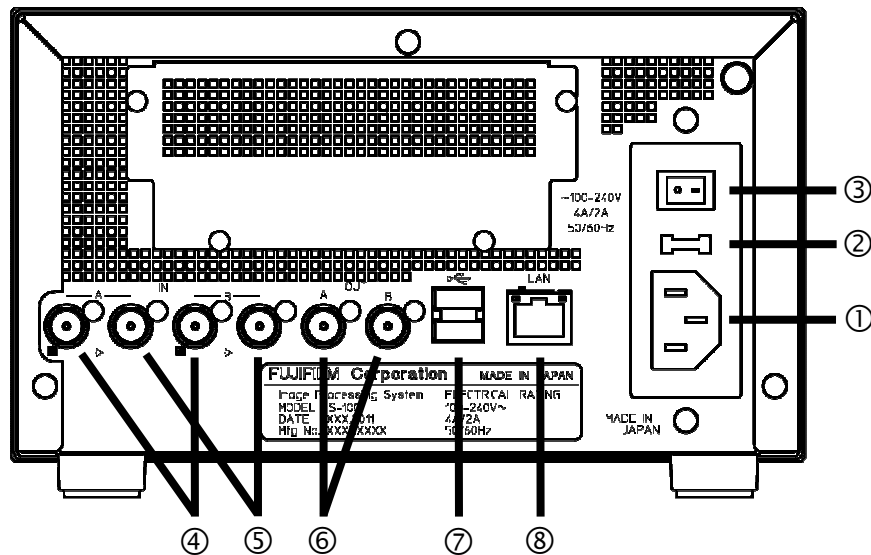
③ ディスプレイ

本機のメニューを表示します。

④ 操作スイッチ（6箇所）

本機のメニューを操作します。

背面



【各部の働き】

① AC 入力

② AC ヒューズ

注意: 交換が必要な場合は販売店までご連絡ください。

③ 主電源スイッチ

④ HD-SDI ビデオ入力コネクタ(Ach Bch)

⑤ HD-SDI ビデオループスルー出力コネクタ(Ach Bch)

⑥ HD-SDI ビデオ出力コネクタ(Ach Bch)

⑦ USB コネクタ (2 箇所)

注意: USB コネクタはこのマーク (ψ) を上にして接続してください。

⑧ Ethernet コネクタ

2.5

ケーブル接続方法、取り外し方法

2.5.1 ケーブルの接続方法



注意

作業を行う前に背面の主電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。感電やけがの原因となることがあります。



注意

本製品は重量物です。製品を扱う際はご注意ください。落下するとけがの原因になります。



感電注意

濡れた手で作業をしないでください。感電や故障の原因になります。



1 HD-SDI ビデオ出力ケーブルの接続

HD-SDI ビデオ出力コネクタと HD-SDI 対応モニターなどに、BNC75Ω の同軸ケーブルで接続します。

2 HD-SDI ビデオ入力ケーブルの接続

カメラ等と HD-SDI ビデオ入力コネクタに、BNC75Ω の同軸ケーブルで接続します。

3 Ethernet ケーブルの接続

ネットワーク機器と RJ45 タイプの LAN ケーブルを接続します。

(ケーブルの長さは 10m 以下の物をご使用下さい)

2.5.2 電源コードの接続



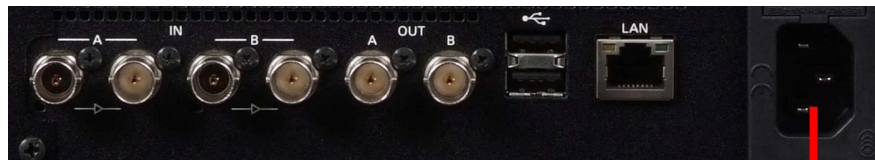
感電注意

濡れた手で電源部に触りますと、感電の恐れがあり大変危険です。絶対に濡れた手で触らないでください。



火災注意

電源プラグをコンセントにさしたまま、電源電圧を切り換えると火災の原因となります。



1

- 1 本体背面のA C入力に電源プラグを接続します。
- 2 本体の電源プラグをコンセントに差し込みます。

AC電源の容量

電源電圧：	AC100V – 240V
電源周波数：	50/60Hz
消費電力：	最大 300W 通常運転時

ケーブルの取り外し方法



警告

作業を行う前に背面の主電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。感電やけがの原因となることがあります。



注意

本製品は重量物です。製品を扱う際はご注意ください。落下させたりしてけがの原因になります。



感電注意

濡れた手で作業をしないでください。感電や故障の原因になります。

- 1 本体前面の電源スイッチを OFF にします。
- 2 IS-100 の稼働が停止していることを確認し、本体背面の主電源スイッチを OFF にします。
- 3 LAN ケーブルまたは、USB ケーブルが接続されている場合には取り外します。
- 4 HD-SDI 入出力ケーブルを取り外します。
- 5 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを本体から外します。

3

IS-100 を使用する

3.1

起動

- 1 各ケーブルが所定の位置に接続されていることを確認します。
- 2 主電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 3 電源プラグがコンセントにしっかりささっていることを確認します。
- 4 本体背面の主電源スイッチを ON にします。
※この時点では、まだ IS-100 は起動しません。
- 5 本体前面の電源スイッチを ON にします。
電源が入ると以下のロゴが表示されます。



- 6 IS-100 が起動します。
注意: 起動が完了するまで、電源を切ったり電源ケーブルを抜いたりしないでください。

IS-100 System Check Processing
Do Not Switch Off Power

- 7 起動が完了すると以下の画面が表示されます。

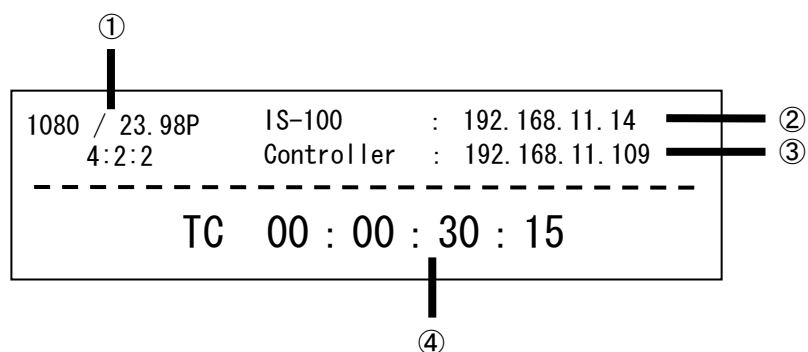
1080 / 23.98P	IS-100	:	192.168.11.14
4:2:2	Controller	:	192.168.11.109

TC 00 : 00 : 30 : 15			

3.2

ステータス画面表示

ステータス画面①



① HD-SDI 入力ソースのフォーマット

② IS-100 本体に設定されている IP アドレス

(IP アドレスが設定されていない場合「No Setting」と表示されます)

③ IS-100 に接続しているコントローラーの IP アドレス

(コントローラーが接続されていない場合「No Setting」と表示されます)

④ HD-SDI のエンベデッドされているタイムコード

(タイムコードがエンベデッドされていない場合は、IS-100 の内部の実時間で生成されます)

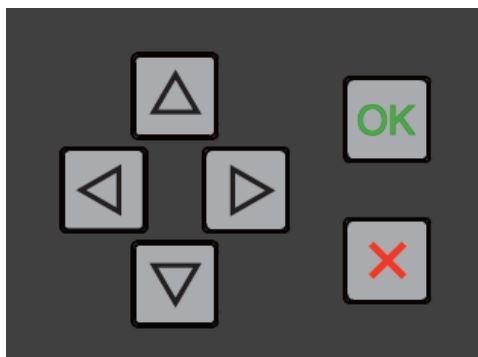
ステータス画面②

ステータス画面①の状態では上ボタンを押すと以下の画面に切り替わります。×ボタンを押す、もしくは数秒するとステータス画面①に戻ります。

Total Operating Time 000100 hours

3.3

設定画面



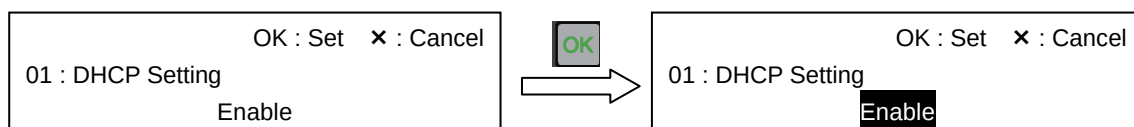
ステータス画面表示時に「OK」ボタンを押すと、設定画面「Setting Menu」と IS-100 の System Version が表示されます。

Setting Menu

IS-100 System Version 1.20

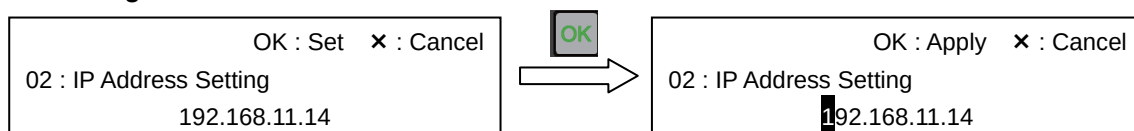
Setting Menu 画面に入ると操作できるボタンのランプが点灯します。上下ボタンを押すと 01～08 の設定メニューが順番に表示されます。各画面の設定が完了するとステータス画面に戻ります。

01: DHCP Setting



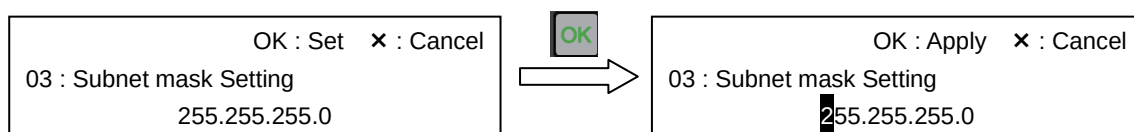
IS-100 は、DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスを自動的に取得します。Enable か Disable から選択してください。

02: IP Address Setting



IS-100 に固定 IP アドレスを設定します。「OK」を押すとカーソルが反転し、左右でカーソル位置を移動し、上下で数値を変更します。

03: Subnet mask Setting



IS-100 のサブネットマスクを設定します。

04: IS-100 System Restart

OK : Yes ✕ : Cancel
04 : IS-100 System Restart

IS-100 のシステムソフトを再起動します。

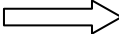
05: Disconnect Controller

OK : Yes ✕ : Cancel
05 : Disconnect Controller
IP : 192.168.11.109

IS-100 と接続しているコントローラーとの通信を切断します。すでにコントローラーと接続状態で別のコントローラーから接続された場合にもこの画面が表示されます。IS-100 は 1 台のコントローラーのみ接続可能です。別のコントローラーを接続する場合は通信を切断する必要があります。

06: Dimmer

OK : Set ✕ : Cancel
06 : Dimmer
4

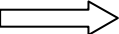


OK : Apply ✕ : Cancel
06 : Dimmer
4

6 段階でパネル表示の輝度を変更できます。

07: One Day Restore

OK : Set ✕ : Cancel
07 : OneDayRestore

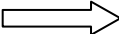


OK : Apply ✕ : Cancel
07 : OneDayRestore
TargetDate : 2012/08/31

09:OneDayBackup で作成した 1 日分のバックアップデータを IS-100 に復元します。バックアップを実施した USB ストレージを接続するとターゲットとなる日付が表示されますので、選択してリストアを実施します。

08: One Day Delete

OK : Set ✕ : Cancel
08 : OneDayDelete



OK : Apply ✕ : Cancel
08 : OneDayDelete
TargetDate : 2012/08/31

指定した日付の 1 日分のデータを削除します。事前に 09 : OneDayBackup を実施したものが選択肢として表示されます。対象の日付を選択して削除します。

09: OneDayBackup



指定した日付の一日分のデータを USB ストレージにバックアップします。「OK」を押してから USB ストレージを接続するとバックアップをおこなう日付を選択することができます。

※以下の操作は IS-100 の管理者のみが実行してください。

設定画面「Settng Menu」表示時に左と右を同時に押すと管理者設定画面「Management Menu」が表示されます。

Management Menu 画面に入ると操作できるボタンのランプが点灯します。上下ボタンを押すと M01～M03 の管理者設定メニューが順番に表示されます。各画面の設定が完了するとステータス画面に戻ります。

M01: Initialize



IS-100 で作成した内部データ保存先を初期化します。取得した画像データ、設定情報などが全て削除されます。(モニターキャリブレーションデータを除く)

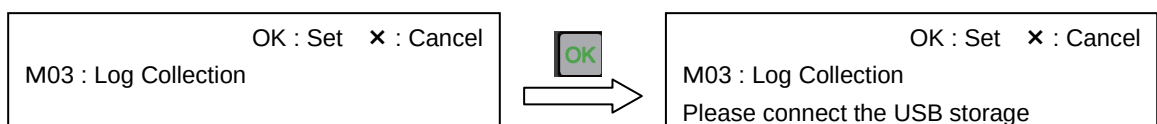
M02: VersionUP



IS-100 のシステムソフトウェアのバージョンアップをおこなうときに使用します。アップデートファイルを USB ストレージに保存し、接続をおこなうと実行するバージョンが表示されます。

※バージョンアップ時は電源を切ったり、電源が抜けたりすることが無いように十分注意しておこなってください。

M03: Log Collection



システムの Log を収集する場合に使用します。USB ストレージを接続し OK ボタンを押すと Log が USB ストレージに保存されます。

3.4

電源を切る



注意

長期間にわたって停止状態に置くときは、背面の主電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 1 本体前面の電源スイッチを OFF にします。パネルに以下の表示がでます。

IS-100 System
Shutdown Processing

- 2 しばらくするとパネルの表示が消え、本機の稼働が停止します。

注意：本機の稼働停止の確認を確実にこなってください

- 3 本体背面の主電源スイッチを OFF にします。

4

メンテナンス

4.1

清掃について

当製品の汚れは、柔らかい布で適宜拭き取ってください。



注意

プラスチック類を変質させる恐れのある有機溶剤（ベンゼン、アセトン等）の使用はさけてください。また、溶剤などの液体が、機器内部へ入り込むことのないように注意してください。

4.2

定期チェック

半年に1回程度、次の事項をチェックしてください。

- 吸気口やファンに付いたゴミ、ほこりの除去
- 周囲荷物の積み上げ等によって吸気口・排気口がふさがれていないか



注意

点検の際は、前面の電源スイッチ及び背面の主電源スイッチを"OFF"にし、背面の電源コードを抜いて完全に停止させてからおこなってください。

項目	仕様
種類	Image Processing System
型式	IS-100
インターフェース	USB2.0 LAN 10/100/1000Base-T
HD-SDI 入力	BNC コネクタ ×2 1 系統入力 対応規格 SMPTE292, 372M
HD-SDI ループスルー出力	BNC コネクタ ×2 HD-SDI 入力信号がそのまま出力されます (電源 OFF 時には出力されません)
HD-SDI 出力	BNC コネクタ ×2 1 系統/ 2 系統出力 (設定による) 対応規格 SMPTE292, 372M
外形寸法	210mm(W) × 400mm(D) × 129.5mm(H)
本体重量	5.0Kg (ケーブル含まず)
電源電圧および周波数	AC 100V ~ 240V 50/60Hz 電圧自動切替
消費電力	300W

5.2

対応フォーマット

入力フォーマット	4:2:2	4:4:4
1920 × 1080/23.98PsF	SL	DL
1920 × 1080/24PsF	SL	DL
1920 × 1080/25PsF	SL	DL
1920 × 1080/29.97PsF	SL	DL
1920 × 1080/30PsF	SL	DL
1920 × 1080/23.98P	SL	DL
1920 × 1080/24P	SL	DL
1920 × 1080/25P	SL	DL
1920 × 1080/29.97P	SL	DL
1920 × 1080/30P	SL	DL
1920 × 1080/50I	SL	DL
1920 × 1080/59.94I	SL	DL
1920 × 1080/60I	SL	DL
1920 × 1080/50P	DL	N/A
1920 × 1080/59.94P	DL	N/A
1920 × 1080/60P	DL	N/A

HD-SDI 入力/出力	説明
SL	1.5G HD-SDI Single Link
DL	1.5G HD-SDI Dual Link
N/A	対応無し

- 入力と出力フォーマットは同一となります。

● 接続したモニターに映像が表示されない場合は？

- 1: IS-100 の電源は入っていますか？動作していますか？パネルにステータスが表示されていますか？
- 2: HD-SDI 入力/出力のケーブルが適切に IS-100 に接続されていますか？
- 3: 入力したフォーマットが IS-100 で対応していますか？

● IS-100 が正常に動作していないと思われる場合は？

- 1: パネルの「Setting Menu」から IS-100 をリセットしてください。
- 2: IS-100 の電源を切り、再起動してください。

● もし IS-100 の電源が入らない、起動しない場合は？

- 1: 電源ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 2: 電源が本体に供給されていることを確認してください。

上記の問題が無い場合は、IS-100 の電源に問題が発生し AC ヒューズが切れた可能性があります。販売店にご連絡ください。



FUJIFILM Corporation

7-3, Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan